

平和創造の森公園内のマヤーアブへの立ち入り制限について

平和創造の森公園内に、沖縄戦で避難壕として利用された「マヤーアブ」と呼ばれる鍾乳洞があります。

県環境部では、この鍾乳洞内部の状況を確認するため、平成 29 年度に洞内のレーザー測量等を実施しました。その結果、下記のことが判明しております。

- すり鉢上の窪地にある洞口から中に入ると、上層・中層・下層の 3 層に分かれており、入口は小さいものの、奥に広がる空間が大きく、奥行きは約 30m、幅は最大約 17m、深さは最大約 20m となっております。
- 洞内部では、多数の亀裂が確認されました。また、岩塊の落下が危惧される等の危険箇所が 25 箇所、転石については、推定重量 20kg ～70 トンのものが 82 箇所確認されました。
- 洞上部の土被り厚等を確認した結果、洞内の大部分に陥没の危険性があります。
- 陥没等の危険性を回避するためには、洞内部にトンネルのようなコンクリート構造物を構築する必要があります。

県環境部では、平成 30 年度に有識者や技術者等を委員とした検討委員会を立ち上げ、上記の調査結果を踏まえた検討を行ってきました。その結果、安全上の観点等からやむなく洞内への立ち入りを制限することとしましたが、洞内に入らなくても平和学習に活用できるよう、令和元年度は洞入口付近に案内板を設置しました。